広報 みのぶ

目次 CONTENTS

新年あいさつ

「町章」「町民憲章」決定

表紙
朝焼けと富士（身延山山頂から）

1
2006
平成18年
No.16

写真提供：身延登山鉄道株式会社

平成十八年 年頭のごあいさつ

身延町長　依田　光弥

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、今年こそ平和で明るく躍進の年であれかしと祈りつつ、輝かしい新春をお迎えになられたことと謹んでお喜び申し上げます。

水澄みて四方に関ある　甲斐の国　龍太

ふるさとの山々は、緑も豊かで、さわやかな空気、清らかな水など、計り知れない大自然の恵みを与えてくれています。

その恩恵に改めて感謝し、自然を新たな気持ちで見つめ直していく必要があります。

新しい年を迎え、改めて豊かな自然の中で、多くの人々との交流を積極的に図りながら、自己実現を図り、幸せを実感できる社会を目指していくべきであるという想いを、新たにしたところであります。

新生身延町はこの一年三カ月余「安らぎと　活力あるひらかれたまち」を目指して、一歩一歩確かな足取りで歩んでまいりました。

町民の皆様のご理解とご協力に心よりお礼申し上げます。

雪景色で明けた平成十七年は、国内外ともに騒然として、多事多難の年でありました。

郵政民営化の是非と政権選択をかけた、夏の衆議院議員選挙が自由民主党大勝となり郵政民営化法案の成立など、小泉内閣は安定した国会運営が可能となり、小泉首相の「改革なくして成長なし」の歩みが大きく加速されることになりました。

こうした情勢を思うにつけ、私たちはこれからの政権運営を注視しながら、地域の問題は地域で解決していくという地方分権の基本姿勢に立って、行政改革を念頭に掲げながら自己責任のもと新町のまちづくりを進めてまいらなければならないと思います。

新町づくりの、最も大きな課題であります行政改革につきましては、数次にわたる行政改革推進委員会の審議のなかで数々のご提言、ご叱正をいただきながら、行政改革大綱の策定と、事務事業の整理・再編・統合・廃止・民間委託等の推進及び定員管理の適正化など七項目にわたり、平成十七年から平成二十一年度までの五年間の具体的な取り組みを明示した集中改革プランを策定し、年度末には公表いたします。

また、身延町総合計画につきましては、新生身延町の向う十年間のまちづくりの理念と本町の特性を基本に総合的、計画的かつ長期的視野に立った行政運営の指針として策定するものであります。

町民アンケートや、各地区懇談会等でご提言・ご意見等町民の皆様の積極的なご協力をいただき、また総合計画審議会のご審議をいただくなかで引き続いて作業を進めてまいります。

また、東海地震等における防災の課題については、パキスタンの大地震、アメリカ南部を襲った史上最悪といわれたハリケーン、国内においても八月には台風十一号、九月には台風十四号の記録的な豪雨により、九州・中国地方には思いもよらぬ甚大な被害をもたらしております。

幸い本町においては、さしたる被害もなく安堵しているところですが、近年多発する地震など自然災害の恐ろしさを改めて見せ付けられた思いであります。

こうした中、本町でも地域防災計画の策定や自主防災組織での防災マップの作成、防災意識の徹底や食糧・飲料水の備蓄などの平常時の防災活動など、各自主防災組織の連携と活性化を図っておるところでありますが、ともすれば地域社会において、かつて培われた住民の連帯意識が失われつつある今日、多くの課題解決のためには地域コミュニティーの充実強化が優先課題であります。

私たちが生まれ育った地域で、共に生き共に生活し、安心して暮らせる社会を築いていくには地域の人々の自主的な活動、支え合いが不可欠であります。また、住み良い地域づくりには、地域の問題は地域の人々によって、自主的に解決しようとすることも求められております。

地域に住む人々の絆をより一層深める地域コミュニティーの活性化を図るべく、地域審議会の皆様のご意見等をお聞きするなかで地域支援活動を強化してまいりたいと考えております。

「安らぎと　活力ある　ひらかれたまちづくり」に向けた基盤整備を確実に進めておりますが、国の三位一体改革による、国庫補助金の廃止・縮減や地方交付税の見直しなど、町の財政は財源確保が一層厳しくなってまいります。

創意工夫による健全財政を堅持し、諸施策を進め、町民一人ひとりが物と心の豊かさを実感でき、健康で生きがいをもって暮らせる「みのぶ」の実現に全力を傾注して参りますので、町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げるとともに、さらなる身延町の発展と皆様方のご多幸を祈念し、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

身延町議会議長
松木　慶光

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、ご家族お揃いで、健やかに新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

平素、皆様には身延町議会に対しまして、温かいご理解と、絶大なご支援ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

昨年十月に合併後初めての議員一般選挙が行われ、新生身延町議会に多数の諸先輩がおられるなかで、議長にご推挙をいただき、その要職に就くことになり、責任の重大さに身の引き締まる思いであります。

さて、地方自治体を取り巻く環境は、一段と厳しさを増しており、合併から一年余りを経過した本町にとりましては、少子高齢化問題や行財政改革は待ったなしととらえ、合併後における協議内容等の検証など、積極的なまちづくりへの取り組みが行われております。

国において実施中の三位一体改革は、「官から民へ」、「国から地方へ」のスローガンのもとに分権改革の仕上げ段階に入っており、町行政においても従来からの慣例にとらわれることなく、マンネリ化した既存の事業について検討するなかで、行政サービスの見直しによって、民間で行うべきか行政が行うべきか、費用対効果による効率性が一層求められております。

このようななかで、新町の町づくりを進めていくための規範となる町民憲章や、町章の制定がなされ、長期総合計画の策定が進められております。「安らぎと　活力ある　ひらかれたまち」の実現に調和とバランスの取れた行政が順調に推進されております。

山紫水明で豊かな自然環境を有する本町は、癒しの場である下部温泉郷、伝統産業の西嶋和紙、安らぎと信仰の身延山をモチーフとし、有機的に連携することによる新たな観光開発が求められており、限りない可能性を秘めた個性ある町であることを再認識し、その発展が期待されております。

住民生活の基本をなし、地域の発展に欠くことのできない道路整備は主要国道・県道・町道をネットワーク化した一体的な整備が求められており、中部横断自動車道の早期実現による地域の活性化が大きく期待されております。

議会といたしましては、議会の使命、議員としての職責を認識し、町の政策決定に積極的にかかわり、行政のチェック機関としての機能を十分発揮し、町民の皆様が安心して住み続けることができる町に向けて議員一丸となって努力する決意を新たにいたしております。

今後もなお一層町民の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。本年も皆様にとりまして、希望に満ちた輝かしい年でありますことを願い、ご健康とご活躍を心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

各地区で文化祭開催

10月下旬から11月上旬にかけて、各地区で文化祭が開催された。

下部地区では10月28日から下部地区町民体育館を会場に「第41回下部文化祭」が開催され、絵画、生け花、書、手芸といった文化協会会員の作品や、園児や小中学生の作品など、多くの力作が展示された。

また、最終日の31日には芸能発表が行われ、舞踊、詩吟、コーラス、和太鼓演奏等が披露された。一生懸命練習を積み重ねてきた発表者の成果に、訪れた参加者からは惜しみない拍手が贈られていた。

特別叙勲の伝達式

11月7日、下部支所教育長室で、故池上勲さん（身延）に特別叙位叙勲の伝達式が行われ、池上さんのご遺族に、千頭和教育長代読のもと、正六位瑞宝双光章の勲記位記が読み上げられ、勲章が贈られました。

故池上勲さんは35年にわたり教育の振興発展に尽力された功績が認められ、今回の叙勲となりました。

みのぶ若竹キッズ

11月5日、身延総合文化会館で「第3回　みのぶ若竹キッズチャリティー・定期コンサート」が開催された。

みのぶ若竹キッズは平成14年10月から活動を開始し、翌年から定期コンサートを開催。このコンサートは、「日々の生活に必要な水にも苦労する、ラオスの人々のため、私たちにできることはないか・・・」との子どもたちの思いから、チャリティーの意味も込められている。「チャリティー資金」は「身延竹炭企業組合」を通じて、日本ラオス協会へ寄贈される。

コンサートでは、若竹キッズの太鼓演奏のほか、身延中学校生徒会の太鼓演奏なども披露された。

ミュージカル鑑賞会と国際交流（身延東小）

11月7日、身延東小学校で、「本物の舞台芸術体験事業」としてミュージカルが上演された。

この事業は文化庁が主催し、児童・生徒に優れた舞台芸術を鑑賞、または舞台に参加することで、本物の舞台芸術に身近に触れる機会を提供するために行われている。

今回は、世界的に有名な「星の王子さま」が、「東京演劇集団　風」により上演され、照明や暗幕など本格的な舞台セットが組まれ、普段とは姿を変え、立派なステージとなった体育館で、児童らは目を輝かせながら舞台に見入っていた。

途中、校長先生などが役者に扮して登場すると、児童からは笑い声と大きな拍手が沸き起こっていた。

後半では六年生を中心に、全校児童が合唱で参加。カーテンコール終了後、児童の代表から劇団員に対して、「ずっと楽しみにしていました。自分達も参加でき、とても楽しかったです」とお礼の言葉と、花束が手渡された。

また、11日には中国雑伎団を招待し「国際交流集会」を開き、雑伎団の体の柔軟性やバランス感覚を生かした演技を見学した後、団員との交流を行った。

演技のあとの質疑応答では、児童から「毎日どのくらい練習するのか」「技を身につけるにはどのくらいかかるか」「体をやわらかくするコツや食事は」などの問いに、「毎日7時間練習している」「難し技は約2年間かかる」「食事は特別なものはなく、毎日の練習が大切」との回答に、雑伎団のすばらしい技が、毎日の努力の積み重ねの成果であることを学んだ。

道の駅オープニングイベント

11月12日、富士川ふるさと工芸館で、「道の駅　富士川ふるさと工芸館」のオープニングイベントが行われた。

富士川ふるさと工芸館は、県内で16カ所目の道の駅として、平成17年8月10日に国土交通省より登録証が交付され、この日、オープンのはこびとなった。

道の駅は、①休憩施設、②地域の情報発信、③全国に800以上ある道の駅との地域連携の三つが主な役割。今後、他の道の駅との連携により、より一層の峡南地域の活性化が図られることが期待されている。

物産まつり

11月12日、第8回目となる物産まつりが道の駅「しもべ」で開催され、地元で取れた農林産物の直売などが人気を集め、多くの参加者で賑わった。

青少年健全育成身延町推進大会

11月12日、身延町総合文化会館で「青少年健全育成身延町推進大会」が開催された。

大会では、家庭の日のポスターや標語の最優秀作品受賞者などの表彰や、警察署管内防犯弁論大会で最優秀賞や優秀賞を受賞した佐野磨知子さん（下部中）、渡辺康太さん（中富中）、遠藤由佳さん（身延中）の三人の意見発表が行われ、自分の体験から得たすばらしい弁論を行った。

また、萩原智子さん（山梨学院大学スポーツセンター研究員・シドニー五輪日本代表）を講師に招き、「水泳と私」と題した講演も行われた。

萩原さんは中学生時代に先生から「克己（こっき）（己に克つこと）」というすばらしいことばを教わり、自分の弱い心に負けそうなとき、自分に「克己」を言い聞かせ努力してきたことを例にあげ、「努力は裏切らない。自分に勝つ強さを持って目標を持ち、努力する事が大切。」と自らの体験を交えながら語った。

寒仕込み味噌蔵出し

11月13日、下部特産物食品加工組合の味噌蔵で、寒仕込み味噌の蔵出しが行われた。参加した約150名は、昨年自分で仕込んだ一樽およそ4kgの味噌を、うれしそうに持ち帰った。

町長と語る小中学生のつどい

11月17日、中富総合会館で「町長と語る小中学生のつどい」が行われ、町内14小中学校の代表28名が参加した。

各校代表から、学校の特色や活動の紹介、学校でアンケートを行うなどして考えた、学校設備の改善や公共交通の充実、環境問題や防災対策などの町への要望や提案が発表された。

中でも、静川小学校で取り組んでいる家庭の廃油を回収し、ディーゼル車の燃料として活用するという取り組みは、非常に関心を集め、町長から「各学校に広げていったらいいのではないか」「町でも町民全体に活動を広げていけるよう取り組みを進めたい」という意見が出された。

また、生徒の要望に応える形で、町営バスの運行時間・運行経路の見直しや、町立図書館と学校図書館などのネットワークの整備などについて、町からも前向きな意見が出された。

調査結果（抜粋）

年齢別回答者

	18~20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
平成12年国調	1,825人	1,601	2,244	2,373	2,548	4,635
	12.0%	10.5	14.7	15.6	16.7	30.4
本調査回答者	109人	128	142	177	209	285
	10.1%	11.9	13.2	16.4	19.4	26.4

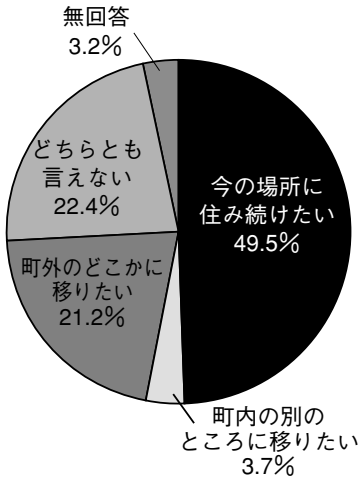
地区別回答者

	下部地区	中富地区	身延地区
平成12年国調（18歳以上）	4,804人	3,768	6,653
	31.5%	24.7	43.7
本調査回答者	333人	252	452
	30.9%	23.4	41.9

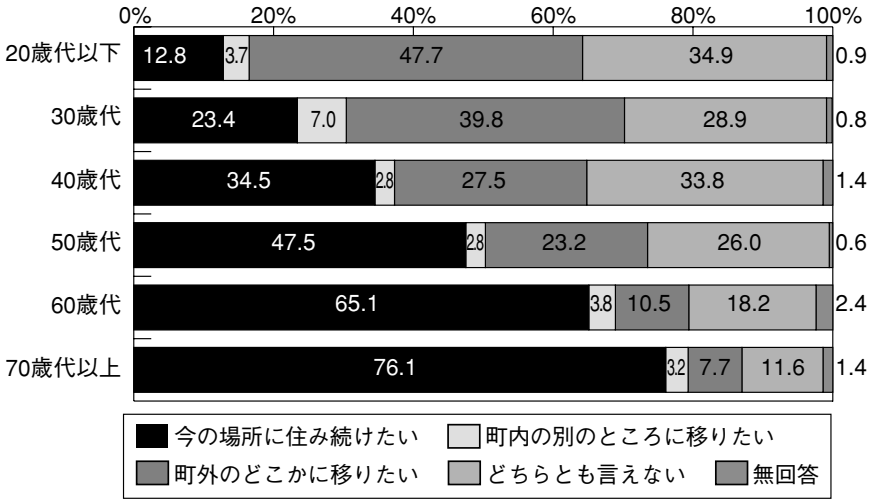
定住促進について

これからも身延町に住み続けたいと思いますか

問3　定住意向（1つだけ）＜全体＞



問3　定住意向（1つだけ）＜年代別＞

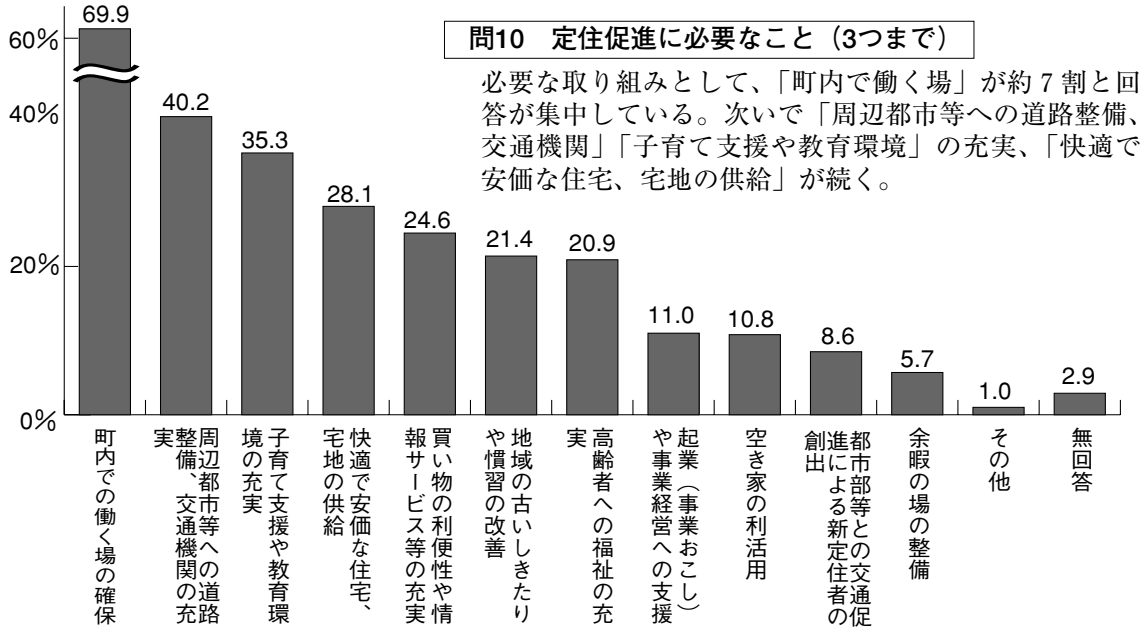


20歳代以下で約5割、30歳代で約4割が「町外に移りたい」と思っている。

定住を促進するために必要なことは

問10　定住促進に必要なこと（3つまで）

必要な取り組みとして、「町内で働く場」が約7割と回答が集中している。次いで「周辺都市等への道路整備、交通機関」「子育て支援や教育環境」の充実、「快適で安価な住宅、宅地の供給」が続く。



町民アンケート

現在、身延町では長期総合計画の策定作業を進めています。

策定にあたっては、総合計画審議会はもとより、町民の皆様の意見を取り入れた計画とするため、町民アンケートをはじめ各種団体等懇談会、地区懇談会などを実施しました。

今回は7月に皆様にご協力をいただいた「町民アンケート」について、主な設問に関する分析を今月号と来月号でお知らせします。

調査対象者と配布・回収方法

対　象　者：身延町に居住する満18歳以上の町民
住民基本台帳から3,000人を無作為抽出

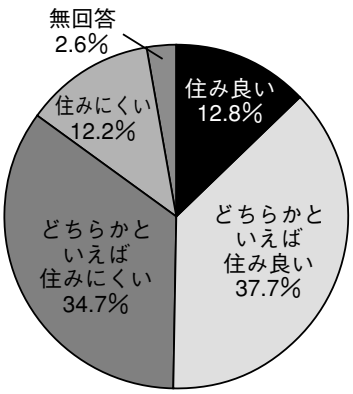
配布・回収：調査票配布3,000、回収1,079（有効回答票率35.8％）。郵送による配布・回収、調査票留置による自記式。

注）統計的な処理における標本誤差は±3％の許容範囲内にある。

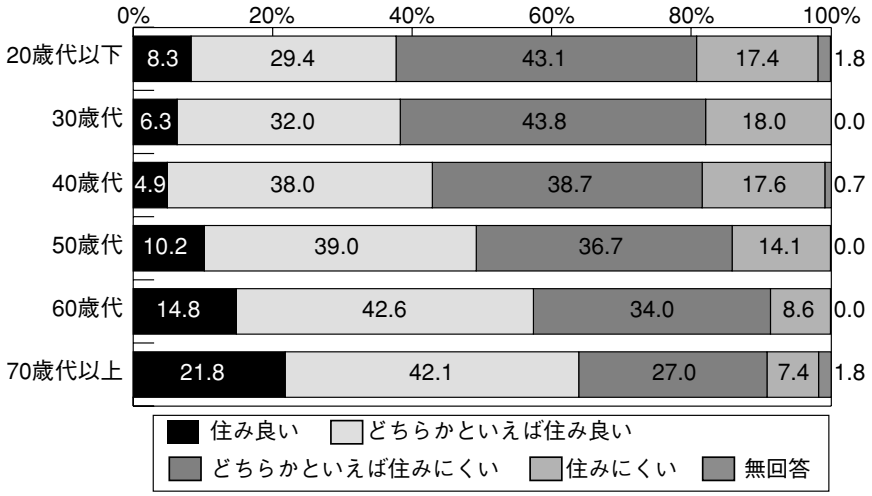
身延町の住み良さ

現在の身延町の住み良さについてどのように感じていますか

問2　住み良さ（1つだけ）＜全体＞



問2　住み良さ（1つだけ）＜年代別＞

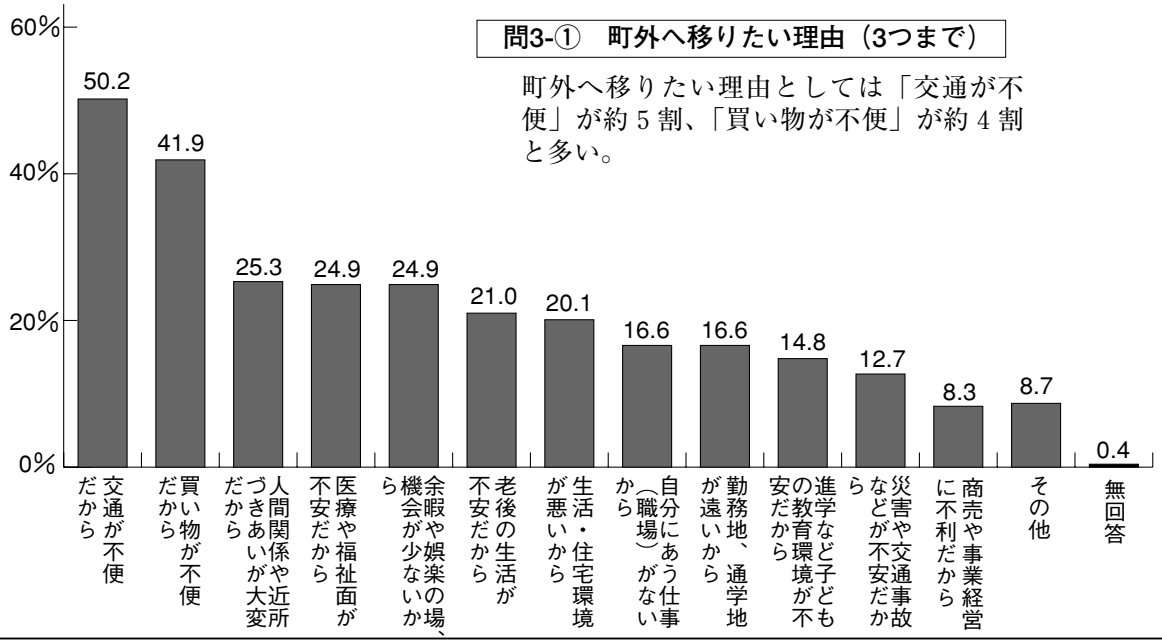


60歳以上では住み良いが半数以上だが、50歳以下では若い世代ほど住みにくい意見が多い。

「町外へ移りたい」理由は

問3-①　町外へ移りたい理由（3つまで）

町外へ移りたい理由としては「交通が不便」が約5割、「買い物が不便」が約4割と多い。



保健だより HOKEN DAYORI

●母子健康手帳交付・妊婦健康相談

＊随時行いますので、ご希望の方は必ず各センターに問い合わせの上、ご来所ください。

●子育て教室：すくすくクラブ　～どなたでもお気軽にご参加ください。～

日にち	時　間	場　所	内　容
1月12日（木）	午前10時～11時30分	下部保健センター	開放日：自由遊びの日
1月19日（木）		身延保健センター	
1月26日（木）		身延保健センター	手作りおもちゃ
2月2日（木）		中富すこやかセンター	開放日：自由遊びの日
2月9日（木）		下部保健センター	

●マザースクール（母親学級）

＊実 施 日：1月18日（水）
＊時　　間：午前10時～11時30分
　　（受付9時45分～）
＊場　　所：中富すこやかセンター
＊内　　容：「鉄分・カルシウムはこうやってプラスしよう！」～妊娠中や出産後に必要な栄養～
＊対　　象：妊婦・産婦
＊持 ち 物：母子健康手帳

●乳児健診（4、7、10、13か月）

＊実 施 日：1月16日（月）
＊受付時間：午後1時～1時30分
＊場　　所：中富すこやかセンター
＊内　　容：予診、身体測定、小児科診察、栄養相談、保健師相談
＊対 象 児：平成16年12月、平成17年3月、6月、9月生まれ
＊持 ち 物：母子健康手帳

●1歳6か月児健診

＊実 施 日：1月27日（金）
＊受付時間：午後1時～1時30分
＊場　　所：下部保健センター
＊内　　容：予診、身体測定、歯科検診、小児科診察、栄養相談、心理士相談、保健師相談
＊対 象 児：平成16年5月、6月、7月生まれ
＊持 ち 物：母子健康手帳、問診票
※対象児には個人通知を送ります。

●幼児歯科検診

＊実 施 日：1月11日（水）
＊受付時間：午後1時30分～2時30分
＊場　　所：身延保健センター
＊内　　容：歯科検診、ブラッシング指導、希望者のみフッ素塗布
＊対 象 児：1歳3か月～就学前
＊持 ち 物：母子健康手帳、歯ブラシ、300円（フッ素塗布希望者）

マザースクール（母親学級）『教えて！先輩ママさん』

先日すこやかセンターにおいて、母親学級が和やかな雰囲気で行われました。

少子化の今だからこそ、身延町で一緒に安心してすこやかな妊娠・出産・育児期を過ごせるよう、お母さん達も頑張っています。

妊婦さんも産婦さんも一緒に話をする中で、「産婦さんの具体的な出産話や体験が参考になった。」「良いマタニティライフを過ごし丈夫な赤ちゃんを産んで欲しい。」とお互いに子育てをしていく仲間としての感想や意見が出されました。

悩みや不安を1人で抱えることなく、身延町で子育てが出来てよかったと思われるようなマザースクールを開催していきます。

問い合わせ先

不明な点は保健師まで問い合わせて下さい。

下部保健センター　(20-3012)
中富すこやかセンター　(20-4611)
身延保健センター　(62-1111)

国保だより　ウォーキング教室

平成17年11月5日（土曜日）、生きがい健康づくり事業の一環として「富士川クラフトパーク」で、**ウォーキング教室**が開催されました。

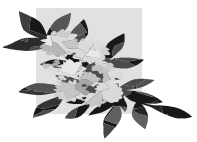
この日は天候が心配されましたが、秋空のもと紅葉を感じながら、楽しく有意義に実施することができました。

教室では、まず保健師の指導のもと健康チェックがおこなわれ、県体育協会の中村正仁先生の指導のもと、体に負担のかからない正しいウォーキングの仕方やウォーキングを行うための体力づくりを学び、実際にクラフトパーク内を歩いたりして、楽しみながら講義の効果を実感しました。

参加者からは「すばらしい自然に恵まれた町を利用して、健康教室に参加出来たこと、仲間に出会うことができて良かった」という感想がでていました。

国保税の納付にご協力ください。

国保税は医療費の一部に使われ、国保を支える重要な財源のひとつです。
納め忘れのないよう納付にご協力ください。



納付月は次のとおりです。

毎年

第１期・　6月（末日まで）
第２期・　7月（末日まで）
第３期・　8月（末日まで）
第４期・　9月（末日まで）
第５期・10月（末日まで）
第６期・11月（末日まで）
第７期・12月（25日まで）
第８期・　1月（末日まで）
第９期・　2月（末日まで）
第10期・　3月（25日まで）

〈お詫びと訂正〉
12月号（No15）に掲載された「身延町の国民健康保険」（P８）の中で、疾病（病気）の件数は**１位・「高血圧性」と掲載されていますが、１位・「高血圧性疾患」の誤りでありますので、お詫びして訂正させていただきます。**

平成17年度 身延町生涯学習課・文化振興課予定事業

生涯学習課、文化振興課では以下のような事業を予定しています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。
※事業の詳細は決定され次第必要に応じ回覧します。事業は都合により変更する場合があります。

事業名等	実施期日（一部予定です。）	事業内容	会場・備考	担当係
なかとみ文化のつどい	2月4日、5日	中富地区生涯学習実践発表及び講演会	中富総合会館	生涯学習係
第38回身延町西嶋和紙の里蔡倫書道展	2月24日～3月5日	本町の地場産業である西嶋和紙と書道の振興を図ることを目的として開催。関東経済産業局長賞、知事賞他。	なかとみ現代工芸美術館	
生涯学習三愛運動推進大会	3月4日	下部地区生涯学習・三愛運動実践発表及び講演会	下部開発センター	
生涯学習フェスティバル	2月26日	身延地区生涯学習実践発表及び講演会	総合文化会館	
西八代郡縦断駅伝大会	2月12日	旧西八代郡下の駅伝大会。各町村から体協や事業所などが参加	旧西八代郡下。（ゴールは下部温泉郷）	生涯スポーツ係
弓道教室	3月	下部地区中学生・一般を対象に開催。	下部弓道場	
年賀状製本講座	1月21日	年賀状を1冊の本にする	町立図書館	図書館係
ちょっと体験！ 2005～2006　第6回	1月22日	ほうとう作り・味噌仕込み	なかとみ青少年自然の里	
新春初笑い	1月27日	新春初笑い　落語二人会 三遊亭小遊三・三遊亭好楽	総合文化会館ホール	文化振興係
スプリングコンサート	3月5日	菅原洋一ファミリーコンサート	総合文化会館ホール	
－新春を彩る寿ぎと祈り－中国年画展	12月16日～2月12日	中国の春節に各家庭で門口などに張る「年賀」という美しい吉祥版画の展示。	なかとみ現代工芸美術館	和紙の里係
みのぶ芸術祭	3月11日～4月9日	町内各地区文化祭から書、絵画、写真などの作品、美術館実技講座の受講生の作品を紹介します。	なかとみ現代工芸美術館	
わらじ作り教室	2月	伝統技術を学ぶ。	金山博物館	金山博物館係

＜問い合わせ先＞
生涯学習係（0556－42－2337）、生涯スポーツ係（0556－20－3017）、なかとみ青少年自然の里（0556－42－3181）、図書館係（0556－62－2141）、文化振興係（0556－62－2110）、和紙の里係（0556－20－4555）、金山博物館係（0556－36－0015）

事業のお知らせ

オペラコンチェルトの夕べ10

身延町西嶋出身のオペラ歌手笠井仁氏プロデュースのオペラを現代工芸美術館で楽しむコンサート。開催は2月10日、会場はなかとみ現代工芸美術館です。詳細は年末配布の回覧をご覧ください。

問い合わせ先：生涯学習課中富分課
42－2337

スキー教室

体協スキー部の指導によるスキー教室。
期　日：1月22日
場　所：長野県しらかば2 in 1スキー場
定　員：40名
申　込：1月4日～13日、生涯スポーツ係
詳細は年末配布の回覧をご覧ください。

問い合わせ先：
生涯学習課
生涯スポーツ係
下部地区20－3017
中富地区42－2337
身延地区62－2154

身延町立図書館だより

NO.16

身延町波木井407番地　電話（0556）62-2141　HPアドレス　http://www3.town.minobu.lg.jp/lib/

楽しかったね！第十回『ブックフェスタ』

十一月二十七日（日）、『第十回図書館まつり』を開催しました。

図書館ボランティア〝千の風〟による『朗読会』では、峡南の民話の朗読や郷土研究家の講演に、訪れた人たちは静かに耳を傾けました。

〝ぶっくん座〟の『おはなし会』や工作会では、集まった親子連れが楽しい歓声をあげていました。

また、恒例となった『おすすめの一冊』展や、『ボランティアバザー』も大盛況のうちに終了し、小春日和の中、にぎやかな一日となりました。

『おはなし会でのマジック・ショー』

簡単きれいに整理しましょ！＊年賀状製本講座＊

届いた年賀状が簡単に楽しく整理できます。年賀状を一冊の本にしてみませんか。

日　時	1月21日（土）午後1時から4時		
持ち物	◎年賀状 ◎ハケ（障子用）	定　員	◎15名
費　用	◎500円（材料費）	申込締切	◎1月15日(日)

＊申し込みは直接、またはお電話で。
＊図書館に見本があります。

わたしのおすすめ・この1冊

『長い旅の途上』　星野道夫／著

アラスカの小さな村に「僕をおいて下さい」と手紙を書いた若き日の星野さんに、まず感動しました。

そして忘れかけた頃、「漁が始まるから手伝いにいらっしゃい」と返事をくれた村長さんにも。

星野道夫の数々の写真集や著書の原点には、そんな人間同士の信頼や愛情が感じられます。

写真家星野道夫を写真集抜きに語ることはできませんが、あえて『1冊』を選ぶなら遺稿集となった、この『長い旅の途上』です。

身延町下部　石部典子さん（40代・女性）

図書館まつりにご協力いただいたたくさんの皆さま、ありがとうございました！

たくさんの遊休品をいただいた「図書館ボランティアバザー」は大盛況のうちに終了し、収益金は四九、七二〇円となりました。これはボランティアの活動費として活用させていただきます。

1月のおはなし会　節分と〝冬〟のおはなし会

と　き　1月21日（土）午後2時～3時
ところ　メディアルーム

★内　容
『さむ～い冬のおはなし』
『節分とオニのおはなし』
その他
★お楽しみ工作
★楽しい鬼退治ゲーム

1月の休館日

◎4日(水)まで〔年始休館〕
◎10日(火)〔祝日の振替〕
◎16･23･30日〔毎週月曜日〕
◎31日(火)〔館内整理日〕

新しく入った本

《一般向け》
『いまを生きるちから』五木寛之
『大人のしくみ』B・バーナード
『ジュニアゴルフ』新井真一
『カポネ』佐藤賢一
『意味がなければスイングはない』村上春樹
『港町食堂』奥田英朗
『生協の白石さん』白石昌則
『学力を育てる』志水宏吉
『今日から怒らないママになれる本』川井道子
『スープ・オペラ』阿川佐和子
『バスジャック』三崎亜紀
『ひょうたん』宇江佐真理
『王国』（その3）よしもとばなな

《児童向け》
『ペンギンたくはいびん』斉藤洋
『ふゆはふわふわ』五味太郎
『あかちゃんてね』星川ひろ子
『ゆきがやんだら』酒井駒子

峡南衛生組合並びに役場環境下水道課より

平成18年4月からのごみの収集内容の変更に伴う、住民説明会の開催についてお知らせします。

峡南衛生組合では、資源ごみの有効利用を図り、より効果的なリサイクル運動をすすめ、一層のごみの減量化、地球温暖化防止対策を推進するため、従来のごみの分別に加え、①その他のプラスチック製容器包装、②ミックス紙の分別収集を開始します。

これに伴い、分別についての基本的なルールをご理解いただくため、住民説明会を次のとおり開催します。

なお、各戸に配布されます「ごみの分け方・出し方」を説明会場にご持参ください。皆様の出席をお願いします。

日　　時		説　明　会　場
2月21日（火）	午後2時～	下部開発センター
2月21日（火）	午後7時～	下部開発センター
2月22日（水）	午後2時～	中富総合会館
2月22日（水）	午後7時～	中富総合会館
2月23日（木）	午後2時～	身延町総合文化会館
2月23日（木）	午後7時～	身延町総合文化会館

問い合わせ先：身延町役場　環境下水道課　環境衛生係　☎ 0556－42－4811

説明会内容

プラスチック製容器包装及びミックス紙の種類・見分け方，排出方法と新しいごみの収集曜日

※この説明会とは別に出前説明会(希望する団体・各集落・住民グループ単位)も実施しますので、ご希望の団体等は、下記へ申し込みください。

スポーツ結果（敬称略）

サッカー

第30回町内サッカー大会
上町QOLIS2連覇!!

平成17年10月19日～31日、身延東小学校を会場に「町内サッカー大会」が行われ、前年度優勝の上町QOLISが、辛くも延長戦の末、身延山大学FCをかわし、2年連続の優勝を手に入れました。

優　勝：上町QOLIS
準優勝：身延山大学FC
決勝戦：上町QOLIS対身延山大学FC

3
2（2－1、0－1）2
1（延長戦）（0－0、1－0）0
2

最優秀選手賞
深沢　典夫（上町QOLIS）
敢闘賞
合川　智徳（身延山大学FC）

空　手

第7回県中学新人大会
（会場：市川大門体育館）
【女子】団体形
準優勝　下部中学校
【女子】団体組手
優　勝　下部中学校

第17回積杯県下少年大会中学生の部
（会場：市川大門体育館）
【男子】2年　個人組手
3　位　松木　紀樹（下山中）
【男子】3年　個人組手
準優勝　遠藤　大隆（下山中）
【男子】スポ少・道場団体組手
優　勝　南松院
【女子】1年　個人組手
優　勝　日向　響（下部中）
【女子】2年　個人組手
準優勝　遠藤　加奈（下山中）

平成17年度自治宝くじ助成金で開催しました、サッカー教室が終了しました。

子供たちの健全育成と地域の活性化を目的に、小学生・幼児にサッカーを通し、スポーツの楽しさや仲間づくりの育成を行うため、開催しましたサッカー教室が終了しました。

今後も、地域のスポーツの普及と、元気づくりを目標にスポーツ教室を開催しますので、積極的なご参加をお願いします。

教育委員会　生涯学習課
生涯スポーツ係

2006.1. No.16 kouhou MINOBU

キラリ★みのぶ　「みのぶジュニアコーラス」

取材が不規則な仕事とはいえ、休日出勤は正直気が重い。しかし、そんな暗い気持ちを吹き飛ばし、感動を与えてくれたコンサートを取材できた。11月19日、身延総合文化会館で行われた、みのぶジュニアコーラス（以下ＭＪ）の定期コンサートだ。

開演前、ホールに入ると思ったより多くの観客で驚く。写真が撮りやすいようにと通路側の座席を探すが、ぐるりと一周してようやく見つかったほどだ。

第1部の合唱、白いワイシャツに赤いリボンで歌うＭＪの姿に、少し「レトロ」な感じがしていたが、歌を聴いているうちに不思議とＭＪの歌への思いが、のど元で赤く燃えているように見えてくる。

第2部のミュージカル、60年前の戦争でご主人を亡くしたおばあちゃんの思いを描いた、脚本からすべてが手作りの物語。平和への祈りがひしひしと伝わり、観ていて体が熱くなった。

ＭＪは平成8年に身延町総合文化会館の開館を機に発足。平成14年にはＮＰＯ法人の認定を受け、音楽活動を通じて子どもの健全育成と地域文化芸術の振興に寄与することを目的に、意欲的に活動を行っている。来年のコンサートを楽しみに、今後のさらなる活躍を期待したい。

INFORMATION お知らせ

山梨県心身障害者自動車燃料費助成

県ではつぎの方を対象に、自動車燃料費の助成を行います。

平成17年1月から12月（12カ月）を助成対象期間とします。

◇助成対象者

自動車税又は軽自動車税の減免を受けている者（申請済みの者）で、身体障害者手帳1級又は2級の者、療育手帳Ａの者、戦傷病者手帳特別項症、第1項症又は第2項症に該当する者。

◇受付日・会場

助成金の請求を受け付けますので、つぎのいずれかの会場へ来場の上、手続をしてください。

①平成18年1月19日（木）
午後1時30分～4時30分
身延町　中富総合会館　2階
ＡＢ会議室

②平成18年1月20日（金）
午後1時30分～4時30分
市川三郷町　市川大門町民会館　2階　視聴覚室

③平成18年1月25日（水）
午後1時30分～4時30分
南部町　南部町活性化センター　1階　多目的ホール

④平成18年1月26日（木）
午前9時30分～午後2時
増穂町　増穂町民会館　3階
Ａ会議室

◆問い合わせ先

峡南地域振興局健康福祉部
障害・家庭福祉課
☎０５５６―２２―８１６２

平成17年度　自衛隊2等陸・海・空士募集

◇募　集

2等陸海空士（男子）
陸上（技術系を除く）は2年、海上・航空は3年を1任期として任用（以降2年を1任期）

◇資　格

日本国籍を有し、18歳以上27歳未満の男子

◇受付期間

年間を通じて行っています。

◇試験日

平成18年1月27日

◇採用予定日

平成18年3月予定

◆問い合わせ先

自衛隊山梨地方連絡部
☎０５５―２５３―１５９１
三珠分駐所
☎０５５―２７２―０８８４

句碑の里　吟行新春特別事業「落語と講演と句会」

内　容　落語・入船亭扇橋さん
講演・永六輔さん

日　時　平成18年1月12日（木）
午後2時から

会　場　身延山東谷　覚林房

参加費　無料

主　催　句碑の里を育てる会

※注意事項
覚林房付近への自家用車の駐車はできません。身延山駐車場（有料）等をご利用ください。

◆問い合わせ先

句碑の里を育てる会（赤池）
☎０５５６―４２―２００３
（午後6時から10時）

結婚相談

結婚について相談したい方は、お気軽にご相談ください。

●日　時　1月15日（日）13時～16時
●会　場　身延分館（元身延勤労センター）
　　身延中学校、身延町民体育館隣接
●電　話　62－1395　※当日開催時間のみ受付
●受付担当　1月は身延地区の結婚相談員さん2名が担当

行政相談

●日　時　1月11日（水）
　　13時～16時
●会　場
　古関出張所
　中富総合会館
　身延保健センター

平成18年2月　古紙類等収集日程表

地区＼種別	古紙類	ペットボトル	金物類	ビン類
旧下部町　A地区	8日	10日	13日	20日
旧下部町　B地区	8日	10日	14日	21日
旧中富町	15日	7日	3日	1日
旧身延町　A地区	1日	2日	9日	16日
旧身延町　B地区	1日	3日	10日	17日

※収集日の朝8時までに必ず名前を記入して出してください。
※可燃物については、平成17年度ごみ収集日程表をご覧ください。

旧下部町　A地区	古関・久那土・下部地区のうち長塩・北川・市之瀬
旧下部町　B地区	長塩・北川・市之瀬を除く下部地区
旧身延町　A地区	下山地区全域・門内地区全域・塩沢・波木井・豊岡・（清子を除く）
旧身延町　B地区	梅平・大野・清子・和田・大島・角打・帯金・丸滝・塩之沢・八木沢・椿草里

入札結果を公表します。－入札日11月30日－

工事・委託名	場所	請負業者	請負金額（円）
小田船原山腹工工事	小田船原	麻野建設㈱	6,562,500
旧波高島保育所解体工事	波高島	下部工業㈱	2,877,000
旧久那土稚蚕飼育所解体改修工事	車田	㈲高野建設	2,520,000
旧曙連絡所・旧引揚者住宅曙解体工事	中山	㈲曙建設	1,337,700
西嶋大排水改良工事	西嶋	西島建設㈲	2,278,500
飯富宮根水路改良工事	飯富	㈲富士建設所	882,000
寺沢川久保農道舗装工事	寺沢	中富土木㈲	1,701,000
古関土肥平道路改良工事	古関	㈱古関工業	1,543,500
町道西島・大塩線道路維持工事	西嶋	㈱長谷川建設	1,953,000
町道宮木・大谷津線道路維持工事	宮木	中富土木㈲	2,646,000
町道静川・大須成・曙線防護柵設置工事	古長谷	㈲曙建設	2,979,900
町道大崩線道路維持工事	大崩	㈱八木沢興業	4,809,000
町道古関丸畑線道路改良工事（第2工区）	三澤	㈱熊谷組	18,522,000
町道大野栄町線道路改良工事	大野	岡田建設㈱	7,371,000
中富下水道工事17-2工区	下田原	㈲望月建設	39,375,000
中富下水道工事17-5工区	下田原	㈱深沢工務所	27,615,000
中富下水道工事17-6工区	下田原	㈱小林建設所	42,630,000
中富下水道工事17-7工区	下田原	㈱長谷川建設	33,390,000
身延南小学校前庭法面整地処理工事	相又	㈱佐野工務店	1,522,500
町道清沢大炊平線道路改良工事（第3工区の1）	大炊平	松井組工友㈱	5,040,000
身延町浄化槽市町村整備設計業務委託	北川・大島	㈱理工エンジニアリング	5,302,500

※　個人情報保護のため、個人が特定できる情報は削除して掲載しました。

心配ごと相談

●日　時　1月13日（金）13時～15時
　　1月27日（金）13時～15時

●会　場
　下部保健センター
　中富すこやかセンター
　身延支所

心配ごと相談は、どなたでも、どんな内容でも、どの会場でも相談をお受けします。

今月の納期

【納期限　1月31日】

・国民健康保険税　8期
・町県民税　4期

INFORMATION

平成17年11月1日～30日までの受付（敬称略）

善意

ありがとうございます。

出生

すくすくよいこに

保　護　者　（地　区）　あかちゃん

死亡

ご冥福をお祈りします。

氏　名　（年齢）　届出人　（地　区）

婚姻

末長くお幸せに

夫　妻　（地　区）

人口と世帯

平成17年12月1日現在　（　）内前月比

人　口	16,848人（−13）
男	8,031人（−19）
女	8,817人（−32）
世帯数	6,407世帯（3）

編集・発行　〒409-3392 山梨県南巨摩郡身延町切石350　身延町役場　企画課広聴広報係
☎0556-42-2111　URL http://www.town.minobu.lg.jp/

「町章」「町民憲章」が決定。

新町誕生以来、制定作業を進めてきた「町章」「町民憲章」が、町民の皆様のアンケート結果を参考に、町章等選定委員会の選定を経て決定し、平成17年12月1日に告示されました。

最優秀作品　重田　修さん（川崎市）

《町章デザインの説明》

身延町のイニシャル「M」をモチーフに、身延山、富士山に囲まれた緑豊かな大地で躍動する人。赤の円は輝く未来を。緑の円は夢・希望・やすらぎを表し、ひらかれた、活力に満ち力強く躍進するまちを表現。

身延町民憲章

私たちの郷土は、雄大な山なみに抱かれ、四季を通して緑と水とが織りなす美しい自然環境に恵まれています。古くから河内路の要衝として栄えた歴史と文化は、幾世代にわたって受け継がれ、今もなお郷土の中に脈々と息づいています。

私たちは、身延町民であることに誇りと自覚をもち、力を合わせて安らぎと活力にあふれた、ひらかれた町づくりを進めていかなければなりません。

このことをふまえて、ここに町民憲章を定めます。

一　ふるさとの自然を愛し、安らぎのある町をつくります。
一　心と体をきたえ、明るく健康な町をつくります。
一　仕事に励み、創意と活力あふれる町をつくります。
一　生涯を通して学びあい、香り高い文化の町をつくります。
一　助けあい、心のふれあうひらかれた町をつくります。

「町章」応募数984点

6月に「町章」の募集を行ったところ、全国から984点（町内応募数157点）の応募をいただきました。選定を通過した7作品について、9月にアンケート調査を行い、6，149人（回答率39％）の回答をいただき、その結果、2，464票（40％）の支持を受けた重田修さんの作品が、選定委員会の選定を経て選ばれました。

また、「町民憲章」については、アンケート調査で提示した素案に対していただいた、174項目の具体的な意見を参考に決定しました。

応募やアンケートで回答いただいた皆様のご協力に心から感謝申し上げます。また、選定等委員会の皆様には長い間ご協力をいただきありがとうございました。